

早稲田大学

LGBTQ+ 学生生活サポートガイド

Version 8



早稲田大学スチューデント・ダイバーシティ・センター
ジェンダー・セクシュアリティ・センター (GSセンター)

Updated: 2025.03

目次

早稲田大学ダイバーシティ推進宣言	1
はじめに	2
第1章 相談・サポート体制	
01 GS センター個別相談	2
02 個別相談の流れ	3
03 英語での相談、もしくは英語と日本語の併用での相談を希望する場合	6
04 学内の紹介先	6
05 イベント開催	7
第2章 性別情報や氏名の管理・収集・変更	
01 性別情報の管理と収集	7
性別情報の管理	7
性別情報収集の必要性の見直しに関する取組み	8
02 学籍上の性別変更（2025 年 3 月現在）	9
03 法律上の氏名に変更があった場合	9
04 通称名の使用	9
自認する性に基づく通称名の使用を申請する場合	10
通称名使用の申請にあたっての注意	10
通称名使用時における本人名義口座への振込	11
生協組合員証の名前表記	12
05 卒業後に証明書の交付を希望する場合の注意事項	13
06 学生証に使用される顔写真	13
第3章 授業の履修	
01 授業・ゼミでの配慮	14
02 介護等体験・教育実習	15
介護等体験の流れ	16
教育実習の流れ	17
第4章 学生生活	
01 早稲田大学 UD（ユニバーサルデザイン）マップ	18
02 学生定期健康診断	18
03 セミナーハウス	19

利用の流れ	19
配慮に関する相談フロー	21
04 正規学生寮（国際学生寮 WISH を中心に）	22
入寮申し込み（各寮共通）	22
法律上の性別を基準とした学生寮	23
部屋割りと生活フロア、トイレ、入浴（WISH）	24
05 交換留学生寮	24
06 トレーニングセンター	25
利用登録	25
更衣室（ロッカールーム）	25
07 多目的運動場	26
だれでも更衣室	26
第5章 就職活動・キャリア	
01 履歴書	27
02 就職活動・キャリアに関する個別相談	27
03 卒業生訪問	27
04 企業情報	28
05 イベント	29
第6章 留学	
01 日本から海外へ / 派遣留学生サポート	29
海外協定大学との連携体制	29
02 海外から日本に / 留学生サポート	30
トランスジェンダーやノンバイナリー学生の受け入れ体制	30
コミュニティの紹介	31
第7章 多様なマイノリティ性を持つ学生への対応	
01 GS センターの利用	32
英語など日本語以外の言語による対応を希望する場合	32
移動に困難があったり、車いすを利用している場合	32
その他、GS センターを利用するにあたって不安がある場合	32
02 GS センターが主催する講演会やイベントに参加する際に配慮が必要な場合	32
第8章 入学前の相談や入学試験実施時の配慮	
01 入学時から通称名を使用したい場合	33

02 入学試験出願時の性別情報の収集	33
03 入学試験実施時の配慮申請	33
04 ジェンダー・セクシュアリティに関する学生生活について相談したい場合	33
本ガイドへのお問い合わせ	34
対応窓ロ一覧	34

早稲田大学ダイバーシティ推進宣言

一人ひとりの多様性と平等を尊重します。

“Respect each other, respect equality and diversity”

早稲田大学は創立以来、内外の多様な人々に広く門戸を開いてきました。また創立150周年を迎える2032年に向けてWaseda Vision 150を策定し、教育・研究の質を飛躍的に向上させ、世界に貢献する大学であり続けることを目指しています。

しかし、教育・研究・就労の場におけるダイバーシティ推進という側面からみると、本学には、なお多くの課題があります。新たなVisionを実現するためには、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢などにかかわらず、本学の構成員の誰もが、尊厳と多様な価値観や生き方を尊重され、各自の個性と能力を十分に発揮できる環境が必要です。

そのためにも、早稲田大学はここに、多様な知を結集して創造的な教育・研究活動を行い、社会の発展に資することを大学の使命と考え、ダイバーシティの尊重・推進に努めることを宣言します。

ダイバーシティ推進基本方針

1. 早稲田大学は、ダイバーシティ推進に関する意識を啓発し、本学の意思決定においては、構成員の多様な意見が尊重されるよう努力します。
2. 早稲田大学は、すべての構成員が個性と能力を発揮し、ワークライフバランスを実現できる教育・研究・就労環境を整備します。
3. 早稲田大学は、合理的配慮を必要とする構成員に対する支援体制を整備します。
4. 早稲田大学は、ダイバーシティの視点に立った人的構成と人材育成を推進します。

2017年7月1日
早稲田大学

はじめに

本学では 2017 年に「早稲田大学ダイバーシティ推進宣言」を行い、あらゆるジェンダー・セクシュアリティを持つ学生が各自の個性と能力を十分に発揮できるよう、環境の整備を行ってきました。ジェンダー・セクシュアリティ・センター（GS センター）は、同年 4 月に早稲田大学の LGBTQ+ 学生や、ジェンダー・セクシュアリティに関心のある全ての人（アライ含む）の居場所となり、誰もが自由に利用できるセーフスペース兼リソースセンターとして開設されました。その活動として LGBTQ+ 学生への各種支援はもちろん、広くジェンダー・セクシュアリティについての相談や支援、啓発イベント等を行っています。

また、本学には世界中から集う学生も多く、国際的な潮流をも踏まえた活動の中で「早稲田大学ダイバーシティ推進宣言」に基づく GS センターの活動内容・紹介文を発展的に見直してきました。本ガイドは、LGBTQ+ 学生が学生生活を送る上での支障や心配事が少しでもなくなることを期待し、GS センターを中心とした本学の取り組み、対応、現状を整理し、まとめたものです。2018 年 3 月に Version 1 を公開して以来アップデートを重ねてまいりました。今後も、LGBTQ+ 学生にとってセーフでよりインクルーシブなキャンパスであるため、学内外の関係箇所・機関との連携を推進し、本学で行うサポートの範囲やレベルをより一層充実させてまいります。

第 1 章 相談・サポート体制

● 01 GS センター個別相談

早稲田大学では、スチューデント・ダイバーシティ・センターの中に GS センターを設置しています。GS センターでは、主に早稲田大学の学部・研究科・芸術学校・附属機関の学生、附属校の生徒を対象に、ジェンダー・セクシュアリティに関する疑問や違和感、心配事、現在や将来的なご自身のウェルネスなどの相談対応やサポートを、GS センターでの対面とオンラインでのリモートの両方にて受け付けています。

ジェンダー・セクシュアリティに関する専門性を持つ職員が、プライバシー厳守のもと可能な範囲で対応します。相談内容によっては相談者の同意を得た場合、学内・学外の適切な機関をご紹介します、連携してサポートいたします。学生・生徒本人のご家族（保護者等）および教職員の相談も受け付けています。

詳細な開室状況や運営状況については、Web サイトをご覧ください。

スチューデント・ダイバーシティ・センター ジェンダー・セクシュアリティ・センター（GSセンター）	
場所	本館 戸山キャンパス 30号館 103室 分館 早稲田キャンパス 10号館 213室
開室時間	平日 10:00-16:00 ※開室状況の詳細は、Webサイトで確認してください。
E-Mail	gswaseda@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/gscenter/
Instagram	https://www.instagram.com/gscenter.waseda/
note	https://note.com/gscenter/

02 個別相談の流れ

基本的に、Web サイト「[GSセンター個別相談予約フォーム](#)」よりお申し込みください。また、来室して雑談をしている流れの中で、具体的な相談を始めたいと感ずることもあるかと思います。そのような場合、相談スペースが空いている場合に限り相談をお受けできるので、まずはお気軽にお越しください。

相談トピックス例
自分の性のあり方をもっと理解したい
アライ（Ally）としてレベルアップしたい
社会的なジェンダー規範が苦しい
LGBTQ+コミュニティの人間関係のことで悩んでいる
ジェンダー・トランジションやカミングアウトについて考えたい、情報が欲しい
性暴力など（過去の経験を含む）について話したい
GSセンターやジェンダー・セクシュアリティ、SOGIE ハラスメントやその対応などについて情報収集したい

▶ 予約方法

個別相談予約フォームと直接来室での予約が可能です。

個別相談予約フォーム使用の場合	来室しての予約・ワークインの場合
呼ばれたいお名前、相談したい事柄（チェックボックス方式）、相談希望日時、相談形態（オンラインか対面）、相談に使用する言語（日本語か英語）、受付場所（コミュニティスペース内の受付ではなく、担当専門職員と直接別室での受付を希望するか）、メールアドレスなどを入力いただきます。GSセンターからのメール返信にて予約を確定します。	個別相談予約フォームの利用に抵抗を感じる場合はGSセンターに来室し、職員にお声がけください。専門職員と直接の相談予約が可能です。また、GSセンター来室中に学生スタッフや職員と話すうちに個別相談の利用が適切だと判断される場合なども、その場で予約可能です。スケジュールの空き状況によっては当日の相談も可能です。

☑ GS センター個別相談予約フォーム

https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=VuUHpbrJvHQWbVVFxR_6A

▶相談当日

❖ 対面相談の場合

- ◆ GS センターに直接お越しいただき、受付担当スタッフの案内のもと GS センター利用者受付をお済ませください。受付後、担当専門職員が相談可能なブースに案内します。
- ◆ 予約時にコミュニティスペース内の受付ではなく、担当専門職員と直接の別室での受付を希望された方は個別にご連絡した場所に直接お越しください。

❖ オンライン相談の場合

- ◆ 相談開始時間までに相談環境を整え、専門職員から事前にお送りした、オンライン相談のための招待メールからご参加ください。

▶相談実施

守秘義務のもと、専門職員が担当します。相談内容に応じ、情報提供や、相談者の同意のもと学内連携などを行うこともあります。なお、相談が50分を超える場合や継続的な支援を必要とする、もしくはご希望の場合は、再度日程調整を行い継続相談となります。詳しくは GS センターの Web サイト『サービス』のページ内にある「[個別相談](#)」をご覧ください。

☑ 個別相談

<https://www.waseda.jp/inst/gscenter/more/consultation/>

▶相談時のお約束

1. GS センターでは、ジェンダー・セクシュアリティに関係することだけでなく、ジェンダー・セクシュアリティに関する事柄に影響を及ぼしている間接的な話題についても相談することができます。
2. 専門職員は、相談者の話を聞き、その悩みに寄り添い、お話を聴きます。面談を通じて、専門職員と一緒に、相談者のしたいこと（自己理解、課題の可視化・明確化、課題解決、自己実現など）を、相談者自身が主体となって叶えていくためのサポートをします。
3. 専門職員は、伺った相談内容を守秘し、GS センター職員間での情報共有以外に他言しないことをお約束します。よって、相談内容が他者に漏れることはありません。

4. 具体的な問題解決が必要な場合は、相談者の合意をもって、学内外の関係機関との連携を図ります。ただし万が一、相談者あるいはその周囲の方の生命の危険があると考えられる場合は、相談者あるいはその周囲の方の合意を得ずとも、緊急対応として然るべき機関との連携を図ることがあります。
 - ▶生命の危機に陥るリスクが高まっているとアセスメントされた場合、学籍情報の確認、主治医の有無の確認、主治医等との連携に際しての情報共有の範囲に関する同意を得るプロセスを別途行います。
 - ▶また、生命、身体の安全を守るために危機介入が必要とスチューデント・ダイバーシティ・センター長が判断した場合には、1) GS センターはかかりつけ医療機関、学部・研究科、保健センター、その他大学関係箇所（教務課、人事課、学生生活課、留学センター、総務課等）、保護者等と連携して対応します。2) その際 GS センターが保持している学籍情報や医療情報、あなたの危機状況とそれへの現在までの GS センターとしての対応等の個人情報を、1) の関係者・箇所と共有します。
5. 年度ごとに公開する GS センターの活動報告書には個別相談の延べセッション数を記載しますが、データは匿名化され、相談内容やその他の個人情報が公開されることはありません（※2022 年度活動報告書より表示形式が変更）。ただし、相談された内容や、学内の他箇所連携ケースに関しては、集計・匿名化して学内の会議等で報告することがあります。特に、教職員による不適切・不十分な対応について共有された場合、相談者の安全を脅かす事象として学内のコンプライアンス推進室や他関係箇所に報告する場合があります。相談者の個人情報を出さずに報告することができますが、事象が発生した箇所や相手の情報については報告の対象になります。
6. 学生相談センターと異なり、心理療法や心理検査などを行うことはできません。また具体的な身体的症状（眠れない、集中できないなど）がある方には、本人の要望や症状の程度に応じて学生相談センターや保健センター（診療室、こころの診療室）と連携をします。
7. GS センター職員は、基本的知識は提供しますが、職員個人のジェンダー・セクシュアリティを含め詳細な情報提供は行っていません。課題・研究等（レポート、卒業論文、学会発表、調査、テストなど）の目的の方には、学びの機会を提供するため、書籍を中心としたリソースを案内しておりますので、あらかじめご了承ください。
8. GS センター外では、第三者からの関係性の詮索を防ぐため、こちらからは挨拶をしたり話かけたりはしません。
9. 相談セッション中や大学在籍中は、専門職員が私的理由で連絡先を交換することはありません。

● 03 英語での相談、もしくは英語と日本語の併用での相談を希望する場合

個別相談予約フォームは日本語と英語が併記されています。相談形態と言語を選択する箇所では、「英語でのオンライン相談」か「英語での対面相談」を選択してください。また、「第7章多様なマイノリティ性を持つ学生への対応（p.31）」も併せてご参照ください。

☑ GS センター個別相談予約フォーム

https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=VuqUHpbRjvHQWbVVFxR_6A

● 04 学内の紹介先

ジェンダー・セクシュアリティについて悩むことで精神的に大きな負担が生じることがあります。相談内容によっては、学生相談センター（2025 年 5 月までの名称 保健センター 学生相談室）を紹介し、連携して対応に当たります。学生相談センターでは臨床心理士が常駐しており、じっくり相談できます。

また、『[早稲田大学におけるハラスメント防止に関するガイドライン](#)』に関わる事案についての対応や相談を大学に希望される場合には、コンプライアンス相談窓口を紹介します。

キャリアや就職活動に関して相談したい場合には、キャリアセンターをご紹介します。

☑ 早稲田大学におけるハラスメント防止に関するガイドライン

<https://www.waseda.jp/inst/harassment/about/guideline>

学生相談センター（2025 年 5 月までの名称 保健センター 学生相談室）	
場所	早稲田キャンパス 25-2 号館 6 階
開室時間	平日 9:15-13:00、14:00-17:00
TEL	03-3203-4449（予約優先）
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/hsc/information/counseling

コンプライアンス相談窓口 ※詳細は各窓口 Web サイトにてご確認ください。	
▶学外窓口（NEC VALWAY 株式会社） ※英語・中国語対応可能	
受付時間	月～金 8:30-19:00 / 土 8:30-17:00
TEL	0120-123-393
Web サイト	https://koueki-tsuhou.com/WFcXVtaEFdCd/

▶学内窓口（コンプライアンス推進室）	
開室時間	月～金 9:30-17:00
Web 申請 フォーム	https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=U+K+MT7RhkKxc5J_GUat8g
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/harassment/ （ハラスメント防止委員会 Web サイト）

キャリアセンター	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）3 階
開室時間	10:00-16:00
E-mail	career-appt@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/career/

● 05 イベント開催

ジェンダー・セクシュアリティに関心のある学生同士がゆるくつながることができる場として、イベントを定期的に開催しています。比較的自由なテーマでおしゃべりをする少人数の集まりや、特定のテーマを設定して話し合ったり、ゲストから話を聞いたりするイベントなどがあります。あるテーマに関して当事者性をもつ学生限定のクローズド・イベントを開催することもあります。イベント情報は、GS センターWebサイトの他、「GS メンバーシップ」でも情報発信しています。

☑ GS メンバーシップ登録フォーム

https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=A9ju0ouT3KVweua3Bgu_jg&subsessionWindowId=



第 2 章 性別情報や氏名の管理・収集・変更

● 01 性別情報の管理と収集

▶性別情報の管理

早稲田大学では、各種証明書（健康診断証明書を除く）、出席簿、手続書類から性別欄を削除するなど本人の意図しない形で法律（戸籍など）上の性別や学籍上の性別が公表されることがないようにすべく厳重に管理しています※。万が一、アウティング（本人の同意なしに、その人の性自認・性的指向・恋愛

的指向、ジェンダーヒストリー〔例:ある人が出生時に割り当てられた性別、名前、ある性別に限定された学校に通っていたなど、その人に関連するジェンダー・トランジション等につわる過去の情報〕、病歴〔HIV ステータスなど〕などを暴露する行為)の被害を受けた場合や、その他学生生活においてご不安な点があれば、いつでもGSセンターに相談してください。

※現在、早稲田大学は原則法律上の性別情報を取得していますが、性別情報を含む学生個人に関する情報は、学生が所属する学部・研究科等事務所の職員の他、教務担当・学生担当の教員など、業務上必要な担当者のみに取り扱い権限を付与しています。

出席簿（授業名簿）

各授業科目の出席簿や
Waseda Moodle には
性別の記載はありません。

証明書の性別記載

本学で発行する証明書関係書類のうち、学内外の関係箇所への申請書類によっては、性別記載が求められる書類（健康診断証明書など）もあります。手続きをする上で、ご不明な点、ご不安等がある場合は、GSセンターに相談してください。

▶性別情報収集の必要性の見直しに関する取組み

早稲田大学では、学生や教職員に対する性別情報収集を必要最小限に抑えるため、全学的な取組みを進めています。手続き用紙や申請フォームにおける性別情報収集が合理的な理由（下記参照）によるものかを確認し、合理的な理由であると判断された場合も、可能な範囲で「性別欄」を自由記述にフォームを変更することや、収集目的を明記するなどの対応を取るよう働きかけています。全学的な検証を経て合理的な理由にもとづき、引き続き性別情報の収集や記載を行わざるを得ないとの判断に至った書類についてはリスト化し、その一部を MyWaseda（学内専用：「学生生活」内）に開示しています。

— 性別情報収集に合理的理由があると判断される事例 —

- 1) 「男女」の区分けがある施設や設備利用における性別情報の収集
- 2) 医療上の目的における性別情報の収集
- 3) 外部機関の定めた書式・項目における性別情報の収集
- 4) 既存の性差別（男女間にある差別・不均衡）を是正するために、まずジェンダー比を明らかにすることで問題を可視化し、そのデータから改善を行うためにポジティブアクションを起こしていく指標とする目的における性別情報の収集
- 5) 学問的研究の目的における性別情報の収集
- 6) 社会調査、統計資料作成などにおける性別情報の収集
- 7) その他、合理的かつ妥当と判断される状況における性別情報の収集

ダイバーシティ推進室では、上記の性別情報の管理に関する取組みや、「だれでもトイレ」「だれでも更衣室」などの施設整備、また、ダイバーシティやジェンダー・セクシュアリティに関するオープン科目

の提供、「ジェンダー・セクシュアリティの多様性を踏まえた教職員向けガイド」の発行や研修、セミナー（「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンセミナー」・「Ally 養成研修」など）の実施など、大学全体の施策の企画を担い、GS センターと連携しながら全学的なダイバーシティとエクイティの推進に取り組んでいます。

☑ 性別情報収集に関する本学の方針および取り組みについて

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

ダイバーシティ推進室	
TEL	03-5286-9871
E-Mail	diversity@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/diversity/

● 02 学籍上の性別変更（2025 年 3 月現在）

本人の法律上の性別に変更があった場合は、学籍上の性別を変更いただくことになります。「氏名変更届」の「戸籍変更に伴うその他の変更事項」にて性別を選択できるようになっているため、氏名変更届とその変更が分かる書類の 2 点を用意し、所属学部・研究科等事務所に問い合わせの上、学籍上の性別の変更手続きを行ってください。「戸籍変更」ではなく、パスポート上、出生証明書上、その他法律上の性別表記が変更になった場合でも、同様の届と項目をご使用ください。変更手続きをする上で相談したいことがある場合は、所属学部・研究科等事務所の他、GS センターの個別相談もご活用ください。

● 03 法律上の氏名に変更があった場合

本人が法律上の氏名を変更した場合は、氏名変更届とその変更が分かる書類の 2 点を用意した上で、所属学部・研究科等事務所にて変更手続きを行ってください。

☑ 氏名変更届 <https://wnpspt.waseda.jp/student/supportanywhere/2021/02/24/application/#7>

● 04 通称名の使用

法律上の氏名を変更していない場合でも、早稲田大学では以下の理由に該当し認められた場合には、法律上の氏名とは別に通称名を登録し使用できます。なお、通称名を登録する際に、通称名のみを明記するか、法律上の氏名（いわゆる本名）と通称名を併記するかを選択することもできます。手続きには「通称名使用願」に加え下表のとおり通称名使用の理由に応じた書類が必要となります。必要書類を準備のうえ、所属学部・研究科等事務所にて手続きを行ってください。

☑ 通称名使用願

<https://wnpspt.waseda.jp/student/supportanywhere/2021/02/24/application/#7>

通称名使用の理由	様式	申請に必要な書類
1) 本人の「住民票」に記載されている通称名の使用を希望するため	様式 A	住民票
2) 婚姻、または養子縁組により改姓したが、旧性の使用により教育研究活動における継続性を維持するため		戸籍謄本、戸籍抄本、またはパスポート
3) 自認する性に基づく通称名の使用を希望するため	様式 B	理由の正当性を補足するもの ※例：診断書、GS センターの意見書
4) その他（理由の記述が必要）		理由の正当性を補足するもの

▶ 自認する性に基づく通称名の使用を希望する場合

トランスジェンダーやノンバイナリーなどの学生が上表の「3) 自認する性に基づく通称名の使用を希望する」ため通称名使用を申請する場合は、通称名使用願「様式 B」をご使用ください。通称名使用願とともに提出する「理由の正当性を補足するもの」としては性別違和があること、もしくは性別不合状態であることが記載された医師の診断書や GS センターからの意見書が挙げられます。GS センターの意見書を希望する場合は、GS センターの個別相談にお申し込みの上、ご相談ください。通称名の使用が認められた場合、各種書類に記載される氏名は、下表のとおりです。

区分	法律上の氏名（いわゆる本名）	通称名
学生証		通称名を使用
出席簿/採点簿		
証明書	発行時に本人が選択する	
学位記	卒業見込みが立った段階で所属学部・研究科等事務所にて確認し本人が選択する	

なお、通称名を使用する場合、通称名と法律上の氏名（いわゆる本名）との認証に関しては、本人の責任において行っていただくことになります。また卒業後の対応については「05 卒業後に証明書の交付を希望する場合の注意事項（p.13）」を確認してください。

▶ 通称名使用の申請にあたっての注意

- ❖ 通称名使用願を申請し承認された場合には一部証明書等で法律上の氏名の使用（あるいは法律上の氏名と通称名の併記）を希望しない限り、原則、学生生活上のあらゆる氏名が通称名となりま

す。

(例) 学生証の氏名、出席簿の氏名、Waseda Moodle 等に表示される氏名、Waseda メール差出人として表示される氏名、保護者等へ送付される通知文書に記載される氏名

- ❖ 申請にあたり保護者等の捺印や同意書は求めていませんが、通称名を使用していることを保護者等が知らない場合には、以下のような場合に、思わぬトラブルに発展することも想定されます。

(例) ペアレンツデー等で保護者等が来校する場合、保護者が大学のイベントに参加する際に学生の氏名が必要な場合、大学から保護者等へ成績通知書やお知らせ等を発送する場合、事件・事故等の緊急対応が必要な場合(大学から保護者等や身近な人、あるいは医療機関に連絡を取る場合)

- ❖ 通称名として申請する漢字氏名の読みが通常読みと著しく異なる場合や、難読漢字、姓がなく名のみとする場合、また戸籍名と異なる姓での申請の場合、本学での利用が認められない可能性があります。また、本学での利用実績をもとに法律上の氏名として改名を申請することを検討されている場合、同様の理由により家庭裁判所での許可が下りない可能性もありますので、本申請の前に、ご自身でも手続き等お調べのうえで慎重にご検討ください。
- ❖ 通称名と本名との認証に関しては、本人の責任において行ってください。大学が発行する証明書(卒業証明書等)、学外の学会発表、論文投稿等について、本人確認書類等に記載される本名と相違した場合には、別途書類を提出する等して認証が必要となる場合があります。
- ❖ 原則として、各種必要書類提出後に承認可否を審査します。必要書類を入学前に提出いただいた場合でも、通称名使用開始が入学時に間に合わない可能性があります。
- ❖ 通称名は学籍番号ごとに申請が必要です。学部から大学院への進学時など、学籍番号が変更となったタイミングで再申請が必要となります。
- ❖ 同一学籍番号における通称名申請は原則一度のみとなります。ただし、やむを得ない事情であると認められた場合はその限りではありません。

通称名使用申請ができない場合でも、科目担当教員に文書を提出することで授業中の呼称を変更するなど、一部の対応が可能な場合があります。詳細についてはGSセンターにご相談ください。また、「第3章 授業の履修(p.14)」も併せてご参照ください。

▶通称名使用時における本人名義口座への振込

通称名使用が認められている場合、早稲田大学学生健康増進互助会(学生早健会)の医療費給付を受ける際に学生早健会の会員証である「学生証」と「保険証」や「本人名義口座」、「領収書」の名前が一致しないことがあります。その場合でも、どちらも同一人物であることを確認できれば、医療費給付を申請

できます。また、学内でのスチューデント・ジョブ（RA、TA、研究補助者、臨時職員、試験監督員、派遣スタッフ、委託業務等）や学内奨学金に関しても同様の扱いです。ただし、日本学生支援機構および学外団体が運営する奨学金に関しては別途手続きが必要な場合がありますので、奨学課までお問い合わせください。

学生生活課 ①学生健康増進互助会担当、②スチューデント・ジョブ担当	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
開室時間	平日 10:00-16:00
TEL	03-3203-4349(共通)
E-Mail	① gakusei-kenko@list.waseda.jp ② sjc@list.waseda.jp
Web サイト	① https://www.waseda.jp/inst/student/support/studenthealth ② https://www.waseda.jp/inst/sjc/

奨学課	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
開室時間	平日 10:00-16:00
TEL	03-3203-9701
E-Mail	syogakukin@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/scholarship/

▶生協組合員証の名前表記

学生の方は原則、学生証記載の氏名を生協の組合員情報に登録しています。ただし、学生証記載の氏名と異なる組合員情報上の氏名を使用することが可能です。組合員情報の変更に関しましては、下記のサイトよりお願いします。

☑ 組合員情報に変更が生じた場合

https://www.wcoop.ne.jp/news_3/news_detail_1446.html

また、学籍上の通称名を使用されている方で、生協の「univcoop マイポータル」では通称名が反映されているものの、デジタル「組合員証」の名前には反映されていない場合、「大学生協アプリ（公式）」をアンインストールした上でスマートフォンを再起動いただき、それから改めてアプリケーションをインストールいただくと「マイポータル」と同様の名前が表示されます。

● 05 卒業後に証明書の交付を希望する場合の注意事項

▶在学時に届出済みの通称名での交付を希望する場合

在学時に届出済みの通称名での証明書交付を希望する場合は、改めて通称名使用の手続きを行う必要はなく、交付までに時間は要しません。ただし本人確認のため、在学時の氏名（通称名も可）が記載された本人確認証が必要となります。

▶在学時と異なる氏名（通称名含む）での交付を希望する場合

原則、早稲田大学では、卒業や退学等の本学離籍後に在学時の氏名（通称名含む）を変更することはできません。ただし、変更しないことで本人に不利益が生じる場合は、変更を希望する理由の正当性等を本学で確認の上、変更を認める場合もあります。

変更が認められた場合でも、学籍情報の変更手続きのため、各種証明書の交付までには1週間以上かかることがあります。交付を希望する証明書を取り扱う学部・研究科等の事務所までお早めにご相談ください。なお、氏名の変更にあたり、法律上の氏名を変更している場合には戸籍抄本などの公的書類を提出し、変更していない（通称名の使用を希望する）場合には、「04 通称名の使用（p.9）」に沿った書類を提出する必要があります。

● 06 学生証に使用される顔写真

学部の一般選抜を受験して入学した場合、基本的に出願時に提出した写真がそのまま学生証に使用されます。出願時と現在とでジェンダー表現が異なるなどの理由で、学生証の写真を変更されたい場合は、所属学部事務所にお問い合わせください。ご希望の場合はGSセンターが学部事務所と連携することも可能ですので、GSセンターにご相談ください。

学部の一般選抜以外で入学した場合は（大学院や科目等履修生等の非正規生を含む）、上記とは異なるプロセスにて顔写真を提出いただき学生証を作成するケースもあります。詳細は、所属学部・研究科事務所にお問い合わせください。

第3章 授業の履修

● 01 授業・ゼミでの配慮

「第2章 性別情報や氏名の管理・収集・変更 (p.7)」に記載のあるように、通称名の使用申請ができず授業における呼称や敬称を個別に希望する場合等には、授業・ゼミで個別にその意向を伝えることが必要となる場合があります。さらに早稲田大学では LGBTQ+学生を含む多様な性のあり方を持つ学生がいることを想定し、教職員向けに「ジェンダー・セクシュアリティの多様性を踏まえた教職員向けガイド」を発行しています。ガイドでは、その場に LGBTQ+学生がいることを前提として接すること、共通の敬称を用いること、語学の授業で三人称を使用しなければならない場合に本人が希望する自身の三人称を聞くこと、合宿時の配慮を聞くことなどを明記しています。学生が教員に直接配慮の申し出をすることもできますが、不安や心配、困難があるときは、GS センターが学部・研究科等事務所や教員との間に立って然るべき文書を作成し、伝えることも可能です。詳細は GS センターにご相談ください。

☐「ジェンダー・セクシュアリティの多様性を踏まえた教職員向けガイド」

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

■相談事例

- ・通称名を使用すると親にも通称名で書類が送られてしまうので、授業内でのみ呼称使用を希望した。
- ・第二外国語の授業で、バイナリージェンダーに基づかない敬称や三人称を使うよう希望した。
- ・ゼミ合宿では自分の生活上のジェンダーでの部屋割りと、入浴時の個室利用を希望した。

▶オンライン授業での配慮

早稲田大学では対面を基本としながら、オンラインでの授業も実施しています。この際、右図の「オンライン授業・ハイブリット授業の検討および運営に関する6箇条」に基づいた授業運営が推進されています。オンライン授業に関する問題や困りごとがある際には GS センターに相談してください。

- ①シラバスに授業や評価の方法を明示します。
- ②授業形態に応じた適切な教材を提供します。
- ③フィードバックを効果的に行います。
- ④積極的に対話の機会を創ります。
 - └グループワークを行う場合には授業前に周知
 - └学生がグループワークに参加しやすいよう配慮
- ⑤学習目標に応じて計画的に課題をデザインします。
- ⑥多様な学習環境に配慮します。
 - └リアルタイムでのカメラのオン／オフに配慮
 - └学生の多様性に配慮

☐「オンライン授業・ハイブリット授業の検討および運営に関する6箇条」

(出典元：早稲田大学 大学総合研究センター) <https://waseda.box.com/s/co4if04ojwkrzfkwsy026wmh3m7klg4>

■相談事例

- ・Waseda Moodle で授業するにあたって、学籍上の名前が表示されてしまい、ジェンダー表現（しぐさや服装など、外見から表現するジェンダー）と異なるので困っている。
- ・Zoom の表示名を学籍上の名前と一致させないとミーティングに入室許可が下りないが、ジェンダー表現と異なるので授業に参加するのをためらってしまう。
- ・家族が同居しているので、ジェンダーやセクシュアリティに関する自分の意見を話しにくい。
- ・同性のパートナーと同居していることが意図せずクラスの人や担当教員に知られてしまい、不安を感じている。
- ・オンライン授業になってより自分の見た目や声を気にするようになり、授業に参加したくない。

● 02 介護等体験・教育実習

介護等体験や教育実習の受入先は、学外機関となります。トランスジェンダーやノンバイナリー学生が望む性別での参加を希望する場合、またはその他何らかの対応や配慮を希望する場合、事前に受入先に大学を通じて相談できます（巻末「対応窓口一覧（p.34）」参照）。

受入先との相談・調整には時間がかかるケースもありますので、p.15、16 に掲載したフローを参考に、事前登録の段階など、**可能な限り早い段階で相談してください**。ただし、受入先はすべて学外の機関となりますので、受入先の設備等の都合により、必ずしも希望に沿えるとは限りません。体験・実習に関して不安なことがありましたら、GS センターに相談してください

早稲田大学教職支援センター

場所	早稲田キャンパス 16 号館 2 階
問い合わせ フォーム	https://www.waseda.jp/fedu/tec/contact
Web サイト	https://www.waseda.jp/fedu/tec/

▶介護等体験の流れ

※3年次に体験をする場合のスケジュール。4年次に体験する場合は「時期（目安）」が1年後ろ倒しとなります。

時期（目安）	GSセンター	学生	教職支援センター	学生が行うこと
～2年次10月			体験の周知	介護等体験に関する連絡を踏まえ、配慮を希望するか検討する。
2年次11～12月		事前登録		体験先で希望する配慮があれば申告する。
2年次1～3月			希望内容確認	
		ヒアリング		
		配慮願い作成		
		面談		具体的にどのような配慮が必要かGSセンターの専門職員と面談し、配慮願いの原案を作成する。最終的に学生・教職支援センター・GSセンターの3者で配慮願いの原案を確認しながら、配慮事項を決定する。
			配慮願い更新	
3年次4～7月 （体験2カ月前まで）			配慮申請	教職支援センターを中心に調整を行い、必要に応じて学生・教職支援センター・体験先の3者で実習中の配慮事項を確定する。
3年次7～11月		体験		事前に緊急の連絡先や相談先などを確認し、体験中悩んだことやトラブルがあった際は、緊急の連絡先や相談先などへ連絡する。
3年次体験終了後		フィードバック面談		主に配慮や実際の体験での経験について、学生・教職支援センター・GSセンターの3者で振り返り面談を行う。

▶教育実習の流れ

時期（目安）	GSセンター	学生	教職支援センター	学生が行うこと
2年次2月			ガイダンス	教育実習に関する情報を踏まえ、配慮を希望するか検討する。 ★配慮を希望する場合は早めに相談を開始すること。
3年次7～8月		事前登録		実習先で希望する配慮があれば申告する。
3年次9～11月			希望内容確認	
		ヒアリング		
		配慮願い作成		
		面談		具体的にどのような配慮が必要かGSセンターの専門職員と面談し、配慮願いの原案を作成する。最終的に学生・教職支援センター・GSセンターの3者で配慮願いの原案を確認しながら、希望する配慮事項を決定する。
			配慮願い更新	
3年次12～3月 （実習1カ月前まで）			配慮申請	教職支援センターを中心に調整を行い、必要に応じて学生・教職支援センター・実習先の3者で実習中の配慮事項を確定する。
4年次実習前		実習前確認		緊急の連絡先や相談先などを確認する。
4年次実習		実習		悩んだことやトラブルがあった際は、「実習前確認」で確認した緊急の連絡先や相談先などへ連絡する。
4年次実習終了後		フィードバック面談		主に配慮や実際の実習での経験について、学生・教職支援センター・GSセンターの3者で振り返り面談を行う。

必ずしも図の通りである必要はなく、柔軟に対応いたしますので、介護等体験、教育実習を検討している場合は、お早めに教職支援センターに相談してください。

第4章 学生生活

● 01 早稲田大学 UD（ユニバーサルデザイン）マップ

早稲田大学では、バリアフリー情報や保育関連施設、「だれでもトイレ」・「だれでも更衣室」等について掲載した「[早稲田大学 UD\(ユニバーサルデザイン\)マップ](https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/accessibility-map/)」を作成しています。

☑ 早稲田大学 UD マップ

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/accessibility-map/>



▶だれでもトイレの「All Genders」表記

学内の「だれでもトイレ」の一部に、早稲田大学がオリジナルで考案した「All Genders」のサインがあります。「だれでもトイレ」は、文字通り「誰でも利用できる」トイレです。利用者の性のあり方を問うことはありません。どなたでも遠慮なく利用してください。また、すべての「だれでもトイレ」に「All Genders」のサインをつけるよう、現在取り組みを進めています。

● 02 学生定期健康診断

学生定期健康診断は、「個人の健康維持や疾患の予防・早期発見」と「学内の感染症まん延予防（結核など）」を目的とし、学校保健安全法に基づき実施しています。自身の健康管理に役立つ貴重なデータとなるため、毎年必ず受診してください。健診日時は予約制ですが、学部（一部除く）、学年、性別による指定はありません。自身の都合の良い日に受けてください。胸部 X 線検査（対象：当該年度入学者および保健センターから受診指示のあった学生）を除き、健診会場でジェンダー別に分かれることはありません。

- ❖ 保健調査票は、WEB での事前回答と当日直接記入する構成になります。性別記載欄はありません。
- ❖ 胸部 X 線検査は、出生時に割り当てられた性に分かれてレントゲン車で行います。着替えは車内あるいは更衣スペースで行います。無地の T シャツ 1 枚の撮影を推奨していますが、検査着に着替えることも可能です。保健センターでの個別撮影を希望する方は、GS センターの個別相談にお申し込みの上ご相談ください。
- ❖ 尿検査は、北九州キャンパス会場以外では事前採尿を案内しています。各健診会場施設内には、だれでもトイレが設置されています。
- ❖ 医師診察について、担当する医師のジェンダーを指定したい場合は、医師診察ブースの掲示案内をご確認または健診会場スタッフにお声がけください。

☑ 学生定期健康診断詳細 <https://www.waseda.jp/inst/hsc/information/healthcare/checkup>

● 03 セミナーハウス

早稲田大学では授業、オリエンテーション、ゼミやサークルの合宿などの、宿泊を伴う活動に利用できるセミナーハウスを設置しています。部屋割り、入浴・シャワー、トイレなど、ジェンダー・セクシュアリティに関して相談したいことや個別対応を希望する場合は、当該活動の宿泊予約を担当する教員や学生等を経由することなく事前の相談により可能な限り対応しますので、学生生活課セミナーハウス担当または信頼できる教職員までお問い合わせください。相談にあたり不安がある場合には、GSセンターまでご相談ください。なお、セミナーハウスによっては設備等の都合により、止むを得ず対応できない場合もありますのであらかじめご了承ください。

☑ セミナーハウス利用上の配慮

<https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar/flow/consideration>

▶利用の流れ

STEP

1 予約システムに利用予約登録を行う

利用団体を代表し、予約者（ゼミ担当教員や団体代表学生等）が予約システムに利用予約登録※を行う。

希望	
2020/02/02	希望
男	女

※現状は、部屋を女性部屋・男性部屋に分けているため、「男女毎の人数」を申請する必要があります。

STEP

2 予約システムが登録内容から適正な部屋数を割り当てる

予約システムは入力された女性・男性の人数から「女性部屋2部屋、男性部屋3部屋」のように割り当てています。予約者が認識している性別が入力されることが多いため、意図しない性別の部屋に割り当てられる可能性があります。部屋割りで不都合がある場合は、学生生活課セミナーハウス担当またはGSセンターまでお問い合わせください。

STEP

3 予約者が利用者名簿を作成し、学生生活課セミナーハウス担当に提出する

☑ セミナーハウス利用者名簿フォーマット：学生生活課 Web サイトからダウンロードできます。

https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar/flow#anc_10

↓ バスの運転手が宿泊する場合は、「教職員番号」の項目に「バス運転手」と入力してください。
↓ 「教職員番号」は、必ず入力してください。

教職員番号	氏名	フリガナ	性別	教職員番号	1泊目	2泊目	宿泊なし
1	早稲田 香丹	ワセダ アオニ	男	w123456	○	○	
2							
3							

↓ 名簿は男女別で入力してください。「学番号」は、必ず入力してください。

学番号	氏名	フリガナ	性別	学番号	1泊目	2泊目	宿泊なし
1	早稲田 茜	ワセダ アカネ	男	1A000001	○	○	
2	早稲田 浅黄	ワセダ アサギ	男	1A000002	○		
3	早稲田 藤	ワセダ フジ	男	1A000003		○	
4	早稲田 萌黄	ワセダ モエギ	男	1A000004			○
5	早稲田 瑠璃	ワセダ ルリ	女	1A000005	○		
6	早稲田 蘇芳	ワセダ スオウ	女	1A000006	○	○	
7	早稲田 朱鷺	ワセダ トキ	女	1A000007		○	

※部屋割りのため、宿泊者全員の性別を記載する必要があります。

STEP

4 学生生活課セミナーハウス担当が予約システムに登録された内容を確認する

学生生活課セミナーハウス担当が予約システムに登録された内容と宿泊者名簿に記載された内容が一致するか確認します。一致しない場合学生生活課セミナーハウス担当から予約者に確認の連絡をします。不安がある場合は、学生生活課セミナーハウス担当または GS センターまでお問い合わせください。

STEP

5 当日、セミナーハウスを利用する

▶各セミナーハウスの個室・風呂・トイレの配慮対応

	個室		風呂			トイレ	
	部屋の一人利用	ユニバーサルデザインルームの利用	男女別大浴場の時間外利用	シャワーブースの利用	部屋内ユニットバスの利用	だれでもトイレの利用	部屋内トイレの利用
軽井沢	○	○	○	○	△ (7号棟群・グリーンハウス利用者のみ)	○	△ (6号棟群・7号棟群・グリーンハウス利用者のみ)
菅平	○	△ (車いす対応トイレつき部屋あり)	○	○	—	△ (車いす対応トイレつき部屋あり)	○
伊豆川奈	○	—	○	—	—	△ (男女共用トイレあり)	○
鴨川	○	—	○	—	—	○	○
本庄	○	○	—	—	○	—	○

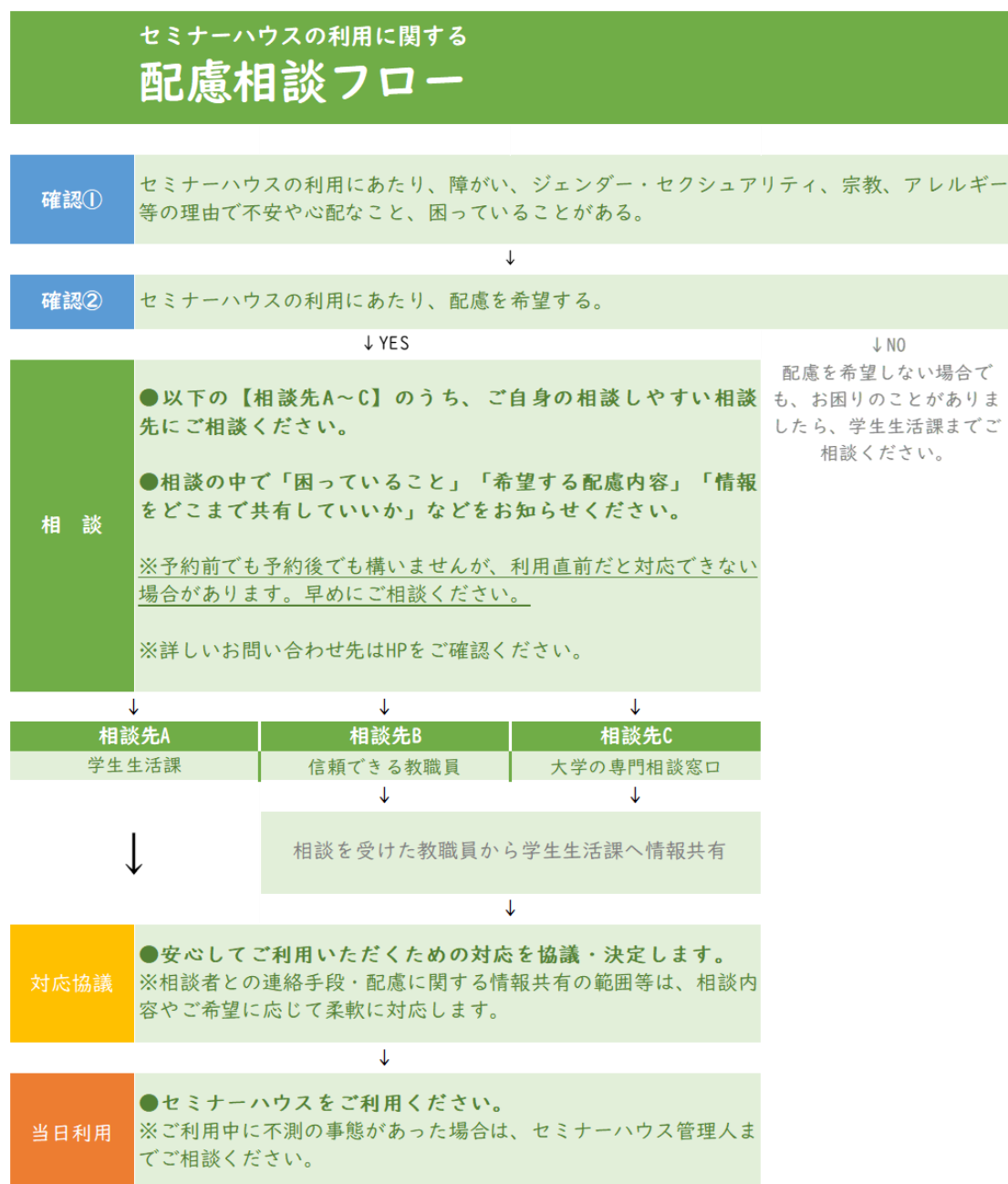
○：対応可能 △：条件付き対応可能 —：該当施設なし

☑ セミナーハウスの構内図など：トイレや風呂の位置・内装などをご覧ください。

<https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar/facility>

▶配慮に関する相談フロー

ご相談いただいてから、原則として以下の流れで配慮内容が決定されます。



学生生活課 セミナーハウス担当	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
開室時間	平日 10:00-16:00
TEL	03-3203-4341
E-Mail	seminar-house@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar

● 04 正規学生寮（国際学生寮 WISH を中心に）

早稲田大学では留学生を含むすべての学生を対象に、大学直営寮や大学提携寮を多数設置しています。ジェンダー・セクシュアリティに関する不安については、対応を検討しますので、直営寮・提携寮いずれの場合も学生生活課学生寮担当まで事前にご相談ください。相談にあたり不安がある場合はGSセンターにご相談ください。交換留学生寮については、「05 交換留学生寮（p.24）」に記載しています。

▶入寮申し込み（各寮共通）

正規学部・研究科の新入生で、学生寮入寮希望者は、早稲田大学に合格後、指定のフォームから以下の流れで入寮の申し込みをする必要があります。学生寮のデジタルパンフレットも参考にしてください。

☑ 学生寮パンフレット https://waseda.rlc.waseda.jp/digital_brochure/Japanese/index.html#page=1

STEP

1

早稲田大学学生生活課学生寮デスク Web サイトの「学生寮入寮申込フォーム」にアクセスする。質問に回答後、「はい」のボタンをクリックする。

※「学生寮入寮申込フォーム」は期間限定でアクセス可能です。

STEP

2

入居者情報（学生本人）、保護者情報、希望学生寮について記入して確認の上、送信し、受付番号を取得する。

※送信できるのは一度限りのため、入力間違いがないかよく確認の上、入力したデータは手元に控えるようにしてください。

1. 入居者情報入力

メールアドレス（半角英数）※ （携帯メールはお避け下さい）	
メールアドレス（確認用）※	
お名前（漢字） 例：姓）早稲田 名）太郎	姓） お名前を漢字で表記できる方は、
お名前（アルファベット）※ 例：姓）WASEDA 名）Taro	姓）
お名前（フリガナ）※ 例：姓）ワセダ 名）タロウ	姓）
性別※	☐ 男性 ☐ 女性 ※男女フロアに分かれている居室割り当てのため性別情報を収集しています。

※現状では、フロアが男女分けされているため、「男女」どちらかにチェックを入れる形式で性別を回答する必要があります。記入にあたり不安のある場合には、レジデンスセンターまたはGSセンターにご相談ください。

STEP

3

その後、寮ごとに選考または抽選が行われ、学生に結果が通知される。入寮契約をした後、寮を利用できるようになる。

▶法律上の性別を基準とした学生寮

早稲田大学には法律上の性別が女性である人のみ・法律上の性別が男性である人のみ・法律上の性別が女性または男性のどちらもが入寮可能（一部その他の性別も可）である学生寮があります。各学生寮の募集はデジタルパンフレットをご確認ください。

入寮を受け付けている寮生の法律上の性別	学生寮名称
女性	WID 下井草・WID 所沢・ドーマー（上石神井/花小金井2 他）・シェアハウスドーマー石神井公園
男性	東伏見学生寮・WID 花小金井2・和敬塾・シェアハウスドーマー花小金井
女性と男性 （一部その他の性別）	女性・男性いずれかのフロアに分かれて居住する寮：国際学生寮 WISH・WID（早稲田/小平/西所沢）・ドーマー（大塚、西新宿、東長崎、東伏見、所沢）・クレヴィアウィル早稲田 法律上の性別による指定がない寮：Campus terrace Waseda・Campus terrace 新宿百人町・プランシエスタ早稲田

☑ 学生寮デジタルパンフレット https://waseda.rlc.waseda.jp/digital_brochure/Japanese/index.html#page=1

以下、大学直営寮の中で最も部屋数の多い国際学生寮 WISH の説明を中心に現状を記載します。

▶部屋割りと生活フロア（WISH）

申請された法律上の性別をもとに、大学側でフロアおよび部屋割りを決定します。寮室は内側から施錠可能な個室ですが、原則 4 人 1 組を 1 ユニットとしてリビング、洗面台を共用します。共同生活にあたってジェンダー・セクシュアリティに関連する不安がある場合には学生生活課学生寮担当または GS センターにご相談ください。

生活フロア（居室、共用リビング、キッチン、シャワー等）は女性用・男性用に分かれており、どちらのフロアに行くかによって使用するエレベーターが異なります。法律上の性別を問わない共用施設（寮管理事務所、専用フィットネスジム、音楽室、ラウンジ、自習室等）は 1 階～2 階のみに設置されています。

☑ フロアガイド https://www.waseda.jp/inst/rlc/student_dormitory/wish/facility/

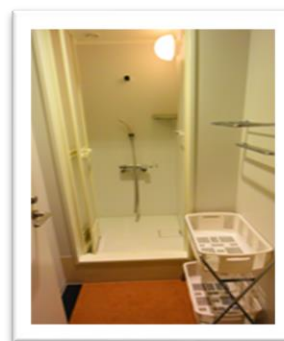
▶トイレ（WISH・共用）

生活フロアの分け方に基づき、女性階（7F-11F）には女性用、男性階（3F-6F）には男性用のトイレが設置されています。2 階には「だれでもトイレ」が設置されています。

▶入浴（WISH）

階ごとに、24 時間利用可能な更衣スペースを含んだ個室シャワールームが 1 フロアあたり 16 室設置されています。また、2 階には法律上の性別に基づく 2 つの大浴場（利用時間 17 時～24 時）が設置されています。

シャワー室内には更衣スペースが設けられている▶



● 05 交換留学生寮

交換留学生寮は交換留学生を対象とする寮で、早稲田大学留学生寮（早大寮）、早稲田奉仕園（奉仕園）、西早稲田留学生寮（西早稲田寮）の 3 つがあり、3 寮全てにオールジェンダーフロアを設けています。

☑ 交換留学生寮 Web サイト https://www.waseda.jp/inst/rlc/student_dormitory/exchange/

学生生活課の Web サイトに募集要項が公開されています。募集要項内で指定された期限内に所定申込フォームから回答してください。申込フォーム上で希望の寮を選択し、回答に基づき抽選で入寮が決まります。申込フォームには、交換留学生寮で生活するにあたっての、性自認・ジェンダー表現に関する質問や懸念を記入できる欄があります。

学生生活課 学生寮担当	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
開室時間	10:00-16:00
TEL	03-3203-2634
E-Mail	ryo-form@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/rlc/

● 06 トレーニングセンター

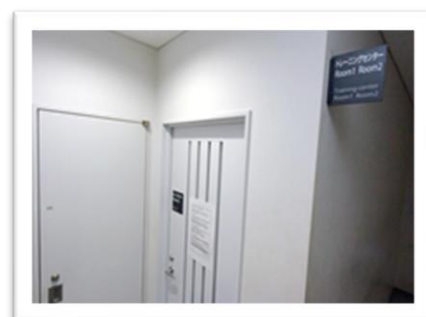
▶利用登録

戸山キャンパス学生会館（30 号館）地下 2 階には早大生・教職員が登録・利用できるトレーニングセンターがあります。利用登録に当たっては「健康診断書」が必要になります。学内で実施している定期健康診断については「第 4 章 02 定期健康診断（p.18）」をご覧ください。また、登録・利用の詳細については以下の Web サイトをご確認ください。

☑ トレーニングセンターの利用について <https://www.waseda.jp/inst/student/facility/training>

▶更衣室（ロッカールーム）

更衣室（ロッカールーム）は「女性」「男性」「個室」の 3 つに分かれています。「個室」は全ての方が使用できますが、2 部屋しかない（「トレーニングセンター Room1」、「トレーニングセンター Room2」）ため、場合によってはお待ちいただく場合もあります。また、一度に使用できるのは 1 名ずつとなります。個室利用の流れ次頁の通りです。



❖ 使用申請

- ① トレーニングセンター受付（学生会館地下2階）で「利用台帳」の「個室」に○をつける。
（個室を他の人が使用している場合は、最大20分お待ちいただくことになります。予めご了承ください。）なお申請は、20:00までとする。
- ② 受付職員からロッカーカードおよび個室の鍵を受け取り、記載された番号の個室を利用する。
- ③ 20分以内に更衣を済ませる。衣服等の管理は、個室内に設置してあるロッカーを使用する。
- ④ 個室を施錠し、個室の鍵のみを受付の職員に返却する（ロッカーキーは自身で管理する）。

❖ トレーニング終了後

- ① 受付職員に個室利用者である旨を伝えロッカーキーを提示する（個室を他の人が使用している場合、最大20分お待ちいただくことになります）。
- ② 個室の鍵を受け取り、記載された番号の個室を利用する。
- ③ 20分以内に更衣を済ませる。利用したロッカー内の荷物を全て取り出す。
- ④ 個室を施錠し、ロッカーカードと個室の鍵を、受付職員に返却する。

❖ 注意事項

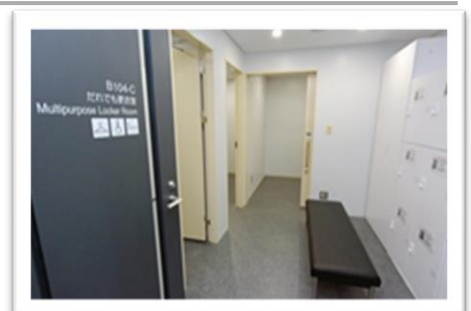
- ・トレーニングセンターは21:00で完全閉室するため、個室利用者は20:20を目途に、余裕を持ってトレーニングを終了し、受付で個室の鍵を借りてください。なお、その場合でも最大20分お待ちいただくことがあります。
- ・使用中は個室の内側から施錠をしてください。貸し出しから20分を大幅に過ぎても個室の鍵が返却されない場合は、ロック確認の上で、職員が開錠する場合があります。
- ・鍵の持ち帰り・紛失等の際は理由の如何を問わず、交換費用を負担いただくことがあります。
- ・個室を他の人が利用している間は如何なる理由があっても個室の荷物の取り出し等には応じられません（授業に必要な道具・スマートフォン・財布等を出したい場合でも対応できません）。

早稲田大学学生部学生生活課

● 07 多目的運動場

▶だれでも更衣室

リフレッシュスタジオやサークル活動などで使用されている戸山キャンパス早稲田アリーナ地下1階の「多目的運動場」には、「だれでも更衣室」が設置されています。「多目的運動場」の利用者は、どなたでもこの更衣室をご利用いただけます。



学生生活課	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
開室時間	平日 10:00-16:00
TEL	03-3202-0706
E-Mail	trainingcenter@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/student/

第 5 章 就職活動・キャリア

● 01 履歴書

学生が就職活動で使用する履歴書として早稲田大学が定めたものではありませんが、早稲田大学生生活協同組合で取り扱う、早稲田大学のロゴマークを使用した履歴書に性別欄はありません。

● 02 就職活動・キャリアに関する個別相談

キャリアセンターでは、将来の進路選択やキャリア形成をサポートするために対面およびオンラインで個別相談を行っています。相談は、ジェンダー・セクシュアリティに関する基本的な知識を習得したキャリアセンター相談員が対応します。MyWaseda「キャリアコンパス」から事前に予約が必要になるので下記キャリアセンターWeb サイトをご確認の上、予約をお願いします。特に、就職活動中や入社後に性のあり方やそれにまつわる個人情報を関係者に伝えるかどうか、指定のフォーマットに性別欄があった際にどのように書くのか、就職先をどう選んでいくのか等、ジェンダー・セクシュアリティに関する相談について詳しく知りたい方は、キャリアセンターWeb サイトの「ジェンダー・セクシュアリティ×就職・キャリアに関する相談」をご確認の上、メールでお問い合わせください。

☑ キャリアセンターWeb サイト <https://www.waseda.jp/inst/career/students/consultation/>

☑ お問い合わせ career-appt@list.waseda.jp（キャリアセンターダイバーシティ担当限定配信）

● 03 卒業生訪問

GS センターでは LGBTQ+稲門会と連携し、LGBTQ+当事者やアライの早稲田大学卒業生のもとに訪問できる仕組みを提供しています。興味のある業界や企業で働いている先輩や、お話を聞いてみたいジェンダー・セクシュアリティの先輩のもとに訪問できる機会となります。利用を希望される方は早稲田大学 GS センターにお声がけください。

※お申し込みにあたっては必ず申込者本人で判断のうえ、申込者本人の意思に基づいて行うようにしてください。なお、お申し込み後は早稲田大学の関与はなく原則としてLGBTQ+稲門会と申込者間でのやり取りとなります。

● 04 企業情報

GS センターおよびキャリアセンターでは、就活・就労に関する書籍などのリソース提供や、個別相談による情報提供を実施しています。また、キャリアセンターにおいて実施している「業界・企業研究フェア」「合同企業説明会」等の企業検索画面において「セクシャルマイノリティ（LGBTQ+等）への取り組みについて 絞り込む」により、企業を検索することができます。その他「LGBT フレンドリー企業」については次の団体等の情報も参考にしてみてください。

▶ work with Pride

企業などの団体において、LGBTQ+などの性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体。2016 年に日本で初めて職場における LGBTQ+への取り組みに係る評価指標である Pride 指標を策定し、毎年企業の表彰を行っています。

☑ work with Pride <https://workwithpride.jp/>

▶ JobRainbow

「D&I 求人メディア」JobRainbow では「LGBT」「ジェンダーギャップ」「障がい」「多文化共生」「介護・育児」の 5 項目からなる独自の「ダイバーシティスコア」を設け、企業を評価・紹介しています。Web サイト上から「LGBT の転職・就活ガイド」にもアクセスできます。

☑ JobRainbow <https://jobrainbow.jp/>

▶ CSR 企業総覧（雇用・人材活用編）（東洋経済新報社）

社会から評価され、長く存続できる会社を見つけるために必須の情報となった CSR（企業の社会的責任）の専門情報誌。「雇用・人材活用編」は、ダイバーシティ、障害者雇用、ワーク・ライフ・バランス支援策などの情報を収録しています。

● 05 イベント

GS センターでは「LGBTQ+&かもしれない人のための就活・就労」と題し、就職活動を終えた LGBTQ+ 学生や、大学卒業後就労している LGBTQ+ の方等を招いたイベントを例年 12 月頃に開催しています。「自分らしく働くってどうすればいい?」「カミングアウトして就活するには?」など、LGBTQ+ 当事者限定の完全予約制のクローズドなイベントです。イベント情報は随時 GS センター Web サイトに掲載しています。

キャリアセンター	
場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）3 階
開室時間	10:00-16:00
TEL	03-3203-4332
E-Mail	career@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/career/

第 6 章 留学

● 01 日本から海外へ / 派遣留学生サポート

▶ 海外協定校との連携体制

早稲田大学は約 600 校の海外大学と協定を結んでおり、留学センターではできる限り本人の希望に沿った留学先を選ぶようサポートしています。留学先を検討するに当たって、寮や大学施設の状況など、Web サイト等で情報が得られず受入先の環境に不安がある場合には、留学センターにご相談ください。相談内容を踏まえて、協定校への確認・対応の相談をすることができます。

☑ 来室/オンライン相談 <https://waseda-cie-online.resv.jp/>

また、性的指向に関する法律上の扱いや、トランスジェンダーやノンバイナリーの権利擁護については国によってさまざまです。留学先を検討する際には以下のような資料が参考になります。

☑ 「同性間の関係に関する世界地図（2024 年 6 月現在）」認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ

<https://nijibridge.jp/data/2421/>

☑ ILGA World Maps（英語のみ）

<https://ilga.org/ilga-world-maps/>

● 02 海外から日本に / 留学生サポート

早稲田大学では、留学生が日本や早稲田大学での生活で孤立しないよう支援をしています。GS センターの相談では英語を話せる職員が対応をしますが、専門性によっては通訳を介する場合がありますので、ご了承ください。なお、学生寮に関する情報は「第4章 04 正規学生寮 (p.22)、05 交換留学生寮 (p.24)」をご覧ください。

▶ トランスジェンダーやノンバイナリー学生の受け入れ体制

トランスジェンダーやノンバイナリー学生の中でも、特に医療的トランジションをしている学生は、日本での滞在期間中のジェンダー受容療法やアフターケア等について主治医と相談し準備をしたうえで渡日してください。日本で医療機関にかかる可能性も踏まえ、主治医から健康状態や療法の状況が分かるもの（英語の紹介状）を持参する事が望ましいです。主治医から処方されている医薬品等を日本に持ち込むにあたっては「[医薬品等の個人輸入について（厚生労働省）](#)」に沿って事前準備を行ってください。

☑ 医薬品等の個人輸入について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/kojinyunyu/topics/tp010401-1.html

自己注射によるホルモン療法を受けている方で、注射器・針の取扱いについてご質問がある場合は、保健センター診療室、もしくはGS センターへお問合せください。

☑ 保健センター診療室(25-2号館3階) ☎03-(5286)-3984

また、GS センターでは、必要とされる方にはジェンダークリニックの情報提供を行っています。なお、現在自国で処方されている医薬品が必ずしも日本で承認されていたり、同じ価格帯で取り扱われているとは限らないことにご留意ください。

学生生活においても、通称名使用や寮生活に関することなど、学内機関と連携して対応を検討していきます。早稲田大学への留学が決まりましたら、必要に応じてGS センターにご相談ください。

留学センター	
場所	早稲田キャンパス 22号館1階
開室時間	平日 10:00-17:00
TEL	03-3208-9602
E-Mail	【早稲田から海外へ】out-cie@list.waseda.jp 【海外から早稲田へ】ex-in-cie@list.waseda.jp
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/cie/

▶コミュニティの紹介

GS センターには、英語対応が可能な専門職員や学生スタッフがあります。全ての曜日ではありませんが、漢語・中国語と韓国語での対応が可能な学生スタッフも在籍しています（2025 年 3 月現在）。LGBTQ+学生がアクセスできるコミュニティや多言語対応可能な学外機関の情報提供も行っています。お気軽にお越しください。

また、ICC（異文化交流センター）では日本と世界のすべての人々を歓迎し、学生が主軸となり交流や学びのイベントを年間約 200 回開催しています。フレンドリーな雰囲気の ICC ラウンジには、昼食や休憩をとる多様な学生達が自然と集まってきます。ぜひ ICC のイベントとラウンジに来てみて、多様な学生と出会い異文化交流を楽しんでください。

☑ ICC イベント情報 <https://www.waseda.jp/inst/icc/>

スチューデント・ダイバーシティ・センター ICC（異文化交流センター）	
場所	早稲田キャンパス 3 号館 1 階
開室時間	平日 10:00-16:00
TEL	03-5286-3990
お問い合わせ	https://forms.office.com/r/EDCf3ZUUhR
Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/icc/



第 7 章

多様なマイノリティ性を持つ学生への対応

GS センターでは、先の留学生とあわせて、日本において多様なマイノリティ性を持ち（社会的にマイノリティとされる要素を持つ）、かつ LGBTQ+である学生に対しても、学内の関係箇所と連携しながら支援を行っています。居場所についても、テーマトークを実施したり、学外の自助グループやコミュニティの情報提供をしています。GS センターは、様々なジェンダー・セクシュアリティのあり方について学んだり、情報を得たり、相談できる場所です。ジェンダー・セクシュアリティに関心がある方なら誰でも利用できますので、気軽にご利用ください。

例

- ・発達障害のある、トランスジェンダーの学生
- ・留学生であり、A ロマンティックの学生

● 01 GS センターの利用

▶英語など日本語以外の言語による対応を希望する場合

GS センターでは、原則日本語での対応になりますが、英語など日本語以外の言語についても可能な範囲で対応します。日本語以外の言語対応が可能なスタッフの出勤日については [GS センターの Web サイト](#)に掲載しています。また、イベント参加は事前に連絡をいただくとスムーズです。ご自身で通訳の方を同伴することも可能です。個別相談の対応言語に関しては、「第1章 相談・サポート体制」(p.2)をご確認ください。

▶移動に困難があったり、車いすを利用している場合

GS センター本館のある 30 号館および分館がある 10 号館にはエレベーターが設置されています。ぜひご利用ください。なお、GS センターの相談支援において対面相談を希望する場合は、事前にご連絡いただくことで別場所にて対応が可能です。気軽に GS センターまでご相談ください。オンラインによる相談やイベントも実施しますので、あわせてご利用ください。

▶その他、GS センターを利用するにあたって不安がある場合

GS センターの利用にあたって不安がある場合はお気軽にお問合せください。多様なマイノリティ性を持つ学生を含む誰もが利用できるよう、学生本人の意向を踏まえ、必要に応じてアクセシビリティ支援センター（ARC）や学生相談センターなど学内の関係箇所と連携して、ご利用の際の不安の解消に出来る限り取り組みます。

● 02 GS センターが主催する講演会やイベントに参加する際に配慮が必要な場合

場内誘導や座席等の調整、情報保障（パソコン通訳等）等について希望する場合は、イベントに関する Web サイトを確認して申請フォーム等にてご相談ください。できる限りの対応を検討します。

● 01 入学時から通称名を使用したい場合

早稲田大学では、入学と同時に通称名を使用することが可能です。ただし、承認に時間を要する可能性があるため、早稲田大学への入学が決定したら、お早めに自身の入学する学部・研究科事務所に相談してください。必要な書類は「第2章 性別情報や氏名の管理・収集・変更（p.7）」を確認してください。

● 02 入学試験出願時の性別情報の収集

早稲田大学では、入学試験と入学手続の必要上、すべての学部・研究科等の入学試験において法律上の性別情報を収集しています。なお、「第2章 01 性別情報の管理と収集（p.7）」のとおり、早稲田大学では性別情報収集を合理的理由があると判断される必要最小限に留めており、性別情報が合否に影響を与えることは一切ありません。

● 03 入学試験実施時の配慮申請

性別違和等を理由に受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち申請を行うことで、必要な配慮が受けられる場合があります。受験する入学試験の入試要項の記載を確認の上、診断書等の書類をご自身で提出する等、所定の手続きによる申請を行ってください。なお、早稲田大学では「ダイバーシティ推進宣言（p.1）」の精神に則り、法律上の性別情報と、性自認や、社会の中で期待されてしまう「その性別らしさ」が一致していないことによって、受験で不利な扱いを受けることはありません。

● 04 ジェンダー・セクシュアリティに関する学生生活について相談したい場合

LGBTQ+の受験生、その保護者やご友人、支援者の方等が、早稲田大学の受験や入学に際してジェンダー・セクシュアリティに関することを相談したい場合は、GS センターWeb サイトの『[お問い合わせ](#)』の『[【学外者向け】お問い合わせフォーム](#)』を通じてご相談ください。お問い合わせフォームでは呼ばれた名前を利用できます。「お問い合わせ・ご依頼内容カテゴリ」で「その他」を選択の上、「お問い合わせ・ご依頼内容」に可能な範囲でGS センターや早稲田大学での学生生活に関して知りたい事をご記入ください。メール、場合によってはオンラインでのリモートもしくはGS センターでの対面にて対応します。

☑ GS センター【学外者向け】お問い合わせフォーム

<https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=DsEzsX5mF0qaB+MJSjmYRA>

本ガイドへのお問い合わせ

ここに掲載した情報は 2025 年 3 月時点の状況です。内容に関して不明な点がある場合、事実と相違があると感じた場合には GS センターまでお知らせください。安心な学生生活を送るためにはまだまだ情報が足りないと感じている方も多くいることと思います。今回掲載に至らなかった事項についても引き続き調査をし、より一層のガイド内容の充実を目指していければと思います。

対応窓口一覧

全般的な お問い合 わせ	スチューデント・ダイバ ーシティ・センター	場所	本館 戸山キャンパス 30 号館 103 室 分館 早稲田キャンパス 10 号館 213 室
	ジェンダー・セクシュア リティ・センター (GS センター)	開室時間	平日 10:00-16:00 ※詳細な開室状況や運営状況については、Web サイトをご覧ください。
		E-Mail	gswaseda@list.waseda.jp
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/gscenter/
		Instagram	https://www.instagram.com/gscenter.waseda/
		Note	https://note.com/gscenter/

概要	窓口	詳細情報	
悩み・相談に 関すること	学生相談センター (2025 年 5 月まで の名称 保健セン ター 学生相談室)	場所	早稲田キャンパス 25-2 号館 6 階
		開室時間	平日 9:15-13:00、14:00-17:00
		TEL	03-3203-4449 (予約優先)
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/hsc/information/counseling
ハラスメント に関すること	コンプライアンス 相談窓口	▶学外窓口 (NEC VALWAY 株式会社)	
		受付時間	月～金 8:30-19:00 / 土 8:30-17:00
		TEL	0120-123-393 ※英語・漢語・中国語 (中文) にも対応しています。
		Web サイト	https://koueki-tsuhou.com/WFcXVtaEFdCd/
		▶学内窓口 (コンプライアンス推進室)	
		開室時間	月～金 9:30-17:00
		Web 申請 フォーム	https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=U+K+MT7RhKXc5J_GUat8g
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/harassment/
性別情報や氏 名の管理・収 集・変更に関 すること	▶通称名使用願の提出について		
	所属の学部・ 研究科等事務所	開室時間等は所属学部・研究科 Web サイトで確認してください。 ※診断書が発行されていない場合は、まずは GS センターへ相談してください。	
		▶通称名使用時の大学から本人口座への振込について	
	学生生活課 ①学生健康増進互 助会担当 ②スチューデント ・ジョブ担当	場所	戸山キャンパス 30 号館 (学生会館) 1 階
		開室時間	平日 10:00-16:00
		TEL	03-3203-4349 (共通)
		E-Mail	①gakusei-kenko@list.waseda.jp ②sjc@list.waseda.jp
		Web サイト	① https://www.waseda.jp/inst/student/support/studenthealth ② https://www.waseda.jp/inst/sjc/

性別情報や氏名の管理・収集・変更に関すること	▶奨学金申請について		
	奨学課	場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
		開室時間	平日 10:00-16:00
		TEL	03-3203-9701
		E-Mail	syogakukin@list.waseda.jp
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/scholarship/
	▶教職員等への学内啓発や「だれでもトイレ」について		
教育実習・介護等体験等に関すること	ダイバーシティ推進室	TEL	03-5286-9871
		E-Mail	diversity@list.waseda.jp
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/diversity/
	教職支援センター	場所	早稲田キャンパス 16 号館 2 階
		TEL	03-3232-3599
		問い合わせ	https://www.waseda.jp/fedu/tec/contact
		Web サイト	https://www.waseda.jp/fedu/tec/
学生生活に関すること	▶セミナーハウスについて		
	学生生活課	TEL	03-3203-4341
		E-Mail	seminar-house@list.waseda.jp
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/student/facility/seminar
	▶学生寮について		
	学生生活課	場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
		開室時間	10:00-16:00
		TEL	03-3203-2634
		E-Mail	ryo-form@list.waseda.jp
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/rlc/
	▶トレーニングセンター、早稲田アリーナ多目的運動場について		
	学生生活課	場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階
		開室時間	平日 10:00-16:00
		TEL	03-3202-0706
		E-Mail	trainingcenter@list.waseda.jp
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/student/facility/training
就職活動に関すること	キャリアセンター	場所	戸山キャンパス 30 号館（学生会館）3 階
		開室時間	平日 10:00-16:00
		TEL	03-3203-4332
		E-Mail	career-appt@list.waseda.jp
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/career/
留学に関する こと	▶留学先の受け入れ体制について		
	留学センター	場所	早稲田キャンパス 22 号館 1 階
		開室時間	平日 10:00-17:00
		TEL	03-3208-9602
		E-Mail	【早稲田から海外へ】out-cie@list.waseda.jp 【海外から早稲田へ】ex-in-cie@list.waseda.jp
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/cie/
	▶留学生を含むすべての学生が参加できるイベントについて		
	スチューデント・ダイバーシティ・センター ICC（異文化交流センター）	場所	早稲田キャンパス 3 号館 1 階
		開室時間	平日 10:00-16:00
		TEL	03-5286-3990
		E-Mail	icc@list.waseda.jp
		Web サイト	https://www.waseda.jp/inst/icc/

早稲田大学LGBTQ+ 学生生活サポートガイド Version 8

2025年 3月 発行

編集発行者

早稲田大学スチューデント・ダイバーシティ・センター
ジェンダー・セクシュアリティ・センター（GSセンター）

問い合わせ先

gswaseda@list.waseda.jp

Webサイト

<https://www.waseda.jp/inst/gscenter/>

無断コピーおよび無断転載を禁じます。コピー・転載・引用等される際には、
必ずメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。
